家庭クラブだより　６月号

○牛尾山環境整備ボランティア

６月４日（AM）、第１回牛尾山環境整備ボランティアを行いました。牛尾山は農家の高齢化と担い手不足による梅林の荒廃を地域課題とされています。その課題改善のため、数年前より家庭クラブが保全活動を行ってきました。今回は煎定された枝の除去、梅の収穫を行いました。高いところにある梅を採るために枝や三脚に登ったり大変でしたが、２時間３０分ほどの活動で３００kgの梅を収穫することが出来ました。

収穫した梅の一部は、フードデザイン科の授業で活用予定です。今後も牛尾山の保全に向けて活動を実施していきます。皆さんの

梅を収穫、牛尾山の保全に一役

牛津高家庭クラブがボランティア

小城市　牛津高（小城市）の家庭クラブの生徒たちがこの春、梅林で知られる市内の牛尾山で梅の収穫ボランティアに励んだ。農家の高齢化と担い手不足による梅林の荒廃を地域課題とされていることを手がける市内グループの活動に加わった。

全校生徒が所属する家庭クラブの実践活動として2017年から取り組んでいる。この日は13年の役員や委員ら29人が参加した。

荒廃梅林の整備などを行っている「ふるさと・夢つむぎネットワーク」（野口直志会長）のメンバーから収穫する梅の品種の特徴やサイズなどを学び、手入りして作業を開始。高い所は脚立を使って青梅なども家取った。出荷シーズンは終盤を迎えており、野口会長は「高校生の助けはありがたい。1日で300キロ強を収穫できた」と話した。

家庭クラブ会長を務める3年の指山彩佳さんは「牛尾山をこれ以上荒らさないように頑張っている活動に感動を受けた。今後もボランティアを続けたい」と話した。

同校の牛尾山の保全活動は、20年度の全国高校家庭クラブ研究発表大会で最高の文部科学大臣賞を受賞している。（市原康史）

牛尾山の梅収穫ボランティアで高校生と地元の農家ら

R4.6.22　佐賀新聞掲載

○校内研修会

６月４日（PM）、校内研修会を行いました。この研修会は家庭クラブ委員の交流を深め、活動への意識向上を図るために行っています。

今年はコロナ禍で、食事スペースを明確に示すためにランチョンマットを製作しました。役員が中心となり、手順などをパワーポイントで教えながら、各学年の服飾デザイン科の生徒がグループに入って作業を進めていきました。２７枚のランチョンマットが完成し、小城市社会福祉協議会を通じ、活用される予定です。

７月の予定
７/６　第３回委員会
お弁当掛け紙絵色塗り